

2024年3月期 第1四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	1
	(2) 第四北越銀行 単体	2
2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	第四北越銀行 単体	3
3. 有価証券の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	3
	(2) 第四北越銀行 単体	3
4. 預金等、貸出金残高	第四北越銀行 単体	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	第四北越銀行 単体	4

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 前年同期比、2022年6月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
3. 自己資本比率につきましては現在算出中につき確定次第、開示致します。

1. 損益の状況

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

○連結粗利益…役員取引等利益が7億円、その他業務利益が19億円それぞれ増益となったものの、資金利益が38億円減益となったことにより、前年同期比10億円減益の268億円となりました。

○経常利益…連結粗利益の減益に加え、営業経費が4億円増加したものの、株式等関係損益が37億円増加したことや、貸倒償却引当費用が5億円減少したこと等により、前年同期比26億円増益の133億円となりました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益…組織再編に伴い特別増益が5億円増加し、法人税等税金関係費用が6億円増加したことから、前年同期比26億円増益の108億円となりました。

(単位:百万円)

		2024年3月期		2023年3月期	(参考) 2023年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
連結粗利益	1	26,847	△1,088	27,935	91,239
資金利益	2	16,422	△3,878	20,300	67,919
役員取引等利益	3	5,489	794	4,695	22,821
その他業務利益	4	4,936	1,997	2,939	498
営業経費 (△)	5	16,129	419	15,710	62,556
貸倒償却引当費用 (△)	6	1,425	△584	2,009	5,395
貸出金償却 (△)	7	949	684	265	2,131
個別貸倒引当金繰入額 (△)	8	540	△1,123	1,663	3,513
一般貸倒引当金繰入額 (△)	9	△319	△298	△21	△820
延滞債権等売却損 (△)	10	—	—	—	24
その他 (△)	11	255	153	102	546
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	136	△83	219	482
株式等関係損益	14	3,375	3,731	△356	534
その他	15	545	△31	576	744
経常利益	【126億円】 16	13,350	2,696	10,654	25,048
特別増益	17	1,422	572	850	△98
税金等調整前四半期(当期)純利益	18	14,773	3,269	11,504	24,949
法人税、住民税及び事業税 (△)	19	2,548	69	2,479	6,699
法人税等調整額 (△)	20	1,349	597	752	366
四半期(当期)純利益	21	10,875	2,602	8,273	17,883
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は四半期(当期)純損失 (△)	22	△0	△61	61	115
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益【100億円】	23	10,875	2,664	8,211	17,768

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))

+ (役員取引等収益 + 信託報酬 - 役員取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 【 】は2024年3月期第2四半期予想値

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	24	11,002	△1,155	12,157	29,217
--------	----	--------	--------	--------	--------

(注) 連結業務純益 = 第四北越銀行業務純益 + その他の会社の業務純益 + 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

(2) 第四北越銀行 単体

○コア業務粗利益は、前年同期比47億円減益の214億円となりました。

- ・資金利益は、貸出金平残が増加し、貸出金利回りも上昇したことから貸出金利息が増加したほか、利回り上昇等により有価証券利息配当金が増加しましたが、市場金利の上昇による外貨調達コストの増加を主因に資金利益全体では前年同期比32億円減益の163億円となりました。
- ・役務取引等利益は、保険窓口販売などによる資産運用アドバイス収益の増加を主因に前年同期比1億円増益の31億円となりました。
- ・その他業務利益（除く国債等債券損益）は、お客さまの為替変動リスクを回避する効果のあるデリバティブ取引の減少などを主因に前年同期比17億円減益の19億円となりました。

○コア業務純益は、コア業務粗利益の減益に加え、経費が物件費を中心に3億円増加したことなどから前年同期比51億円減益の66億円となりました。

○経常利益は、ネット信用コストが3億円減少したことに加え、国債等債券損益が43億円、株式等関係損益が35億円それぞれ増加した結果、前年同期比29億円増益の118億円となりました。

○四半期純利益は、前年同期比17億円増益の84億円となりました。

(単位:百万円)

		2024年3月期		2023年3月期	(参考) 2023年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
業務粗利益	1	23,864	△473	24,337	80,227
(コア業務粗利益)	2	(21,481)	(△4,773)	(26,254)	(91,789)
資金利益	3	16,309	△3,218	19,527	67,311
うち投資信託解約損益	4	—	△3,369	3,369	4,749
役務取引等利益	5	3,187	180	3,007	15,427
その他業務利益	6	4,367	2,566	1,801	△2,511
うち国債等債券損益	7	2,383	4,300	△1,917	△11,561
経費（除く臨時処理分）(△)	8	14,786	335	14,451	57,503
うち人件費(△)	9	7,384	△265	7,649	30,340
うち物件費(△)	10	6,273	391	5,882	23,769
実質業務純益	11	9,077	△808	9,885	22,724
(コア業務純益) 【105億円】	12	(6,694)	(△5,108)	(11,802)	(34,285)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	(6,694)	(△1,738)	(8,432)	(29,536)
一般貸倒引当金繰入額(△)①	14	—	40	△40	△1,002
業務純益	15	9,077	△849	9,926	23,726
臨時損益	16	2,794	3,786	△992	△1,157
うち不良債権処理額(△)②	17	1,204	△251	1,455	5,587
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	18	(1,204)	(△211)	(1,415)	(4,585)
うち貸倒引当金戻入益	19	101	101	—	—
うち偶発損失引当金戻入益	20	130	130	—	—
うち償却債権取立益	21	135	△83	218	472
うち株式等関係損益	22	3,227	3,572	△345	3,130
経常利益 【102億円】	23	11,872	2,939	8,933	22,568
特別損益	24	△31	△191	160	△2,088
うち固定資産処分損益	25	22	△903	925	652
うち減損損失(△)	26	53	△712	765	2,741
税引前四半期(当期)純利益	27	11,841	2,748	9,093	20,480
法人税、住民税及び事業税(△)	28	2,097	22	2,075	5,108
法人税等調整額(△)	29	1,338	933	405	524
四半期(当期)純利益 【71億円】	30	8,405	1,794	6,611	14,847

(参考)

ネット信用コスト(△) 14+17-19-20-21	31	837	△359	1,196	4,112
----------------------------	----	-----	------	-------	-------

- (注) 1. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益  
 2. 実質業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）  
 3. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（除く臨時処理分）  
 4. 【 】は2024年3月期第2四半期予想値

2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

第四北越銀行 単体

○不良債権額は前年同期比22億円増加し、1,226億円となりました。一方、不良債権比率は、貸出金残高の増加により、0.01ポイント低下の2.25%となりました。  
 ○破産更生債権及びこれらに準ずる債権は9億円、危険債権は9億円、要管理債権は3億円それぞれ増加しました。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末		2022年6月末	2023年3月末
	2022年6月末比	2022年6月末	2022年6月末	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	60	9	51	63
危険債権	1,119	9	1,110	1,150
要管理債権	45	3	42	47
三月以上延滞債権額	7	△12	19	8
貸出条件緩和債権額	37	15	22	38
小計 (A)	1,226	22	1,204	1,261
正常債権	53,057	1,116	51,941	53,053
債権額合計 (B)	54,283	1,138	53,145	54,314
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.25%	△0.01%	2.26%	2.32%

3. 有価証券の状況

○欧米の金融引き締めに伴う世界的な金利上昇を背景とした債券価格の下落などから、第四北越フィナンシャルグループ連結の有価証券の評価差額は231億円の含み損、第四北越銀行単体の有価証券の評価差額は191億円の含み損となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末				2022年6月末				2023年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	456	5	6	0	16	△0	—	0	328	3	3	0
その他有価証券	27,238	△237	744	982	24,328	△247	456	703	28,288	△296	603	899
株式	1,583	609	624	14	1,260	347	380	33	1,495	454	480	25
債券	14,413	△187	21	208	14,875	△190	13	204	15,717	△201	46	247
その他	11,241	△659	99	758	8,192	△404	61	466	11,074	△549	76	626
うち外国証券	6,810	△521	1	523	4,385	△299	2	301	6,594	△327	34	361

(2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末				2022年6月末				2023年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	456	5	6	0	16	△0	—	0	328	3	3	0
その他有価証券	27,087	△197	775	973	24,221	△176	518	694	28,151	△240	647	887
株式	1,433	636	643	6	1,153	399	424	25	1,359	496	514	17
債券	14,413	△172	28	201	14,875	△170	27	198	15,717	△185	52	237
その他	11,240	△660	103	764	8,192	△405	65	471	11,074	△551	80	632
うち外国証券	6,810	△520	2	523	4,340	△298	2	301	6,594	△326	34	361

※時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、評価損益は次のとおりです。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末		2022年6月末		2023年3月末	
	評価損益		評価損益		評価損益	
金利スワップ	184		35		27	

#### 4. 預金等、貸出金残高

##### 第四北越銀行 単体

- 貸出金残高は、前年同期比1,272億円増加し、5兆2,886億円となりました。
- ・県内事業性貸出が新型コロナウイルス関連融資の返済本格化や、資材価格の高騰等を受けた設備投資の先送りなどを主因に減少したものの、県外事業性貸出が増加したことから事業性貸出全体では前年同期比1,476億円増加しました。
  - ・消費性貸出は商品・サービスの拡充や非対面チャネルの強化によるお客さまの利便性向上に積極的に取り組んだ結果、前年同期比561億円増加しました。
- 譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期比1,018億円増加し、8兆6,666億円となりました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2023年6月末		2022年6月末	2023年3月末
		2022年6月末比		
貸出金残高	52,886	1,272	51,614	52,881
県内事業性貸出残高	16,909	△285	17,194	17,435
うち中小企業向け貸出残高	14,023	△323	14,346	14,486
県外事業性貸出残高	12,839	1,761	11,078	12,473
うち中小企業向け貸出残高	5,346	591	4,755	5,249
消費性貸出残高	14,526	561	13,965	14,428
公金貸出残高	8,610	△766	9,376	8,543
預金等残高	86,666	1,018	85,648	86,161
うち県内預金等残高	84,805	984	83,821	84,344
うち個人預金等残高	57,146	919	56,227	56,317

(注) 預金等残高=預金+譲渡性預金

#### 5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

##### 第四北越銀行 単体

- 預かり資産残高は前年同期比468億円増加し、9,045億円となりました。
- 公共債が61億円減少したものの、投資信託が97億円、保険が432億円それぞれ増加しました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2023年6月末		2022年6月末	2023年3月末
		2022年6月末比		
預かり資産残高	9,045	468	8,577	8,624
投資信託	1,849	97	1,752	1,757
公共債	705	△61	766	716
保険	6,490	432	6,058	6,150
(参考) 第四北越証券	4,448	540	3,908	4,250

以上